

令和3年12月21日
道路局企画課

第35回日中道路交流会議を開催しました（報告）

～道路分野における日本・中国両国の技術交流～

国土交通省は、中華人民共和国交通運輸部と、12月21日に、オンラインにて「第35回日中道路交流会議」を開催しました。

本会議では、道路のデジタル化・知能化の発展や環境に配慮した道路に関する技術について、両国の知見を共有するとともに、引き続き、技術交流を継続していくことを確認しました。

本会議は、1984年（昭和59年）に日中間において、道路に関する技術交流を目的に「日中道路交流会議」を開催することに合意して以降、30年以上に渡り開催しております。

12月21日に開催した第35回日中道路交流会議の結果概要は次のとおりです。

《第35回日中道路交流会議》

(1) 開催日：令和3年12月21日（火）

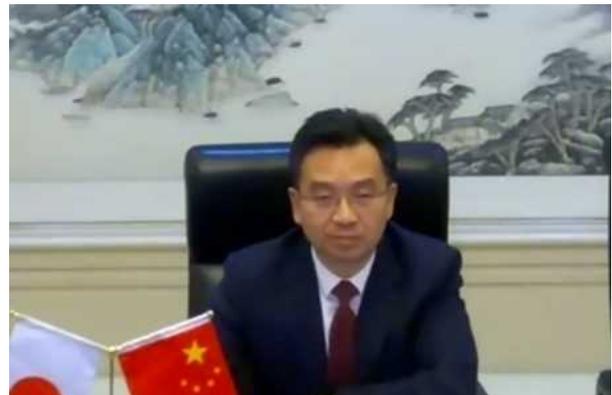
(2) 出席者：

[日本側] 国土交通省 大臣官房審議官（道路局担当） 倉野 泰行
道路局企画課国際室 室長 八尾 光洋 ほか

[中国側] 中華人民共和国交通運輸部 公路局 局長 吳 春耕
公路局 技術管理处 処長 張 建軍 ほか



国土交通省 倉野審議官による開会挨拶



交通運輸部 吳局長による開会挨拶

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 企画課 国際室 北澗（きたま）、西川

電話 03-5253-8111（内線：37542）

夜間直通 03-5253-8906 F A X 03-5253-1618

(別紙) 結果概要

会議では、道路のデジタル化・知能化の発展と環境に配慮した道路に関する技術の動向という2つの共通テーマについて発表があり、活発に意見交換が行われました。

【日本側発表】

- ・道路システムのDXについて、車載カメラのリアルタイム共有による道路巡回、CCTVカメラを用いた交通障害検知システムやAI分析、道路データプラットフォームの構築等、道路管理の高度化・効率化に向けた国土交通省の取組みの最新の動向を紹介しました。
- ・舗装リサイクル技術について、舗装のストック量の推移、建設廃棄物排出量、舗装リサイクルの現状、舗装再生の各種工法等、日本の事例を紹介しました。

【中国側発表】

- ・道路のデジタル化・知能化の発展について、第十四次五ヶ年計画及び2035年のビジョン等といった政策、ビッグデータの効果検証、自動運転及び自動運転をサポートする技術ガイドの展望について紹介がありました。
- ・道路インフラ整備と環境保護について、資源の有効活用、太陽光発電を用いた省エネ、低炭素技術、環境への配慮等、中国の事例の紹介がありました。

会議を通じて、両国の道路分野の知見を共有するとともに、引き続き道路分野における協力関係を継続していくことを確認しました。国土交通省は、会議で得られた知見を国内の道路行政に活用するとともに、今後とも日中両国の道路に関する技術交流を実施して参ります。



会議の様子